

令和4年度普及指導計画プロジェクト課題概要

令和4年2月3日 石巻農業改良普及センター

課題名	計画期間	対象(地域等)	概要	課題名	計画期間	対象(地域等)	概要		
1 産地を形成する多様な担い手のステップアップによるいちごの産出額向上 (新規課題) 「園芸振興」 「アグリテック」関連課題	令和4年度～令和6年度	JAいしのまき共販部会： 石巻苺生産組合(16戸) 河南いちご生産組合(13戸) やもといちご生産組合(7戸) (株)いちごランド石巻(石巻市) (株)アグリバレット(石巻市) (株)トライベリーファーム(石巻市) (株)黄金ファーム(石巻市) (株)イグナルファーム(東松島市) (株)サンエイト(東松島市) (株)アソラ(東松島市)	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> 石巻地域のいちご生産は、亘理地域に次ぎ県内第二の産地となっている。 近年、高齢化により栽培者数・面積が減少、これに伴い販売額も減少傾向にあるが、需要が底堅い品目で単価も比較的安定している。 環境測定機器の導入等、新たな取り組みの動きがあり、栽培技術の向上により収量、販売額の増加が期待できる。 農業法人による先端技術を用いた栽培が行われている。 いちごを新規品目として取り入れる農業法人の動きがある。 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> JA部会への環境制御等 新たな技術普及支援 各農業法人の課題改善支援 新規参入者への基本技術指導 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> いちご販売金額：76.3千万円（R4） 現況値：71.5千万円（R3） 	3 地域活性化に向けた高収益作物(アスパラガス)の導入・定着 (継続課題)「園芸振興」関連課題	令和2年度～令和4年度	アスパラガス研究会(20経営体)	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> 農業者の高齢化や担い手不足の中、地域農業の持続的な発展には、野菜等の高収益作物の導入による農業所得の向上が求められている。 高収益作物の一つとしてアスパラガスが注目されているが、北海道等の主要産地では病害虫発生等により作付面積、生産量とも減少している。 平成30年度から病害対策として明治大学等が開発した1年養成株全収穫栽培法(採りつきり栽培)の実証試験栽培を行い一定の成果が得られた。 令和元年度にJA等連携してアスパラガス研究会を組織し、アスパラガスの導入・定着による農業所得の向上と地域農業の活性化に取り組んでいる。 【これまでの活動・成果等】 <ul style="list-style-type: none"> アスパラガス栽培管理勉強会の実施により生理生態への理解と採りつきり栽培の技術習得が図られ、栽培面積は54aと増加している。 農協や市場等と連携した販売戦略会議を開催し、直売等を中心とした販売戦略を構築している。 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> 技術習得による安定生産 直売・市場出荷等の販売力向上 ネットワークの向上によるアスパラガスの導入定着 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> アスパラガス栽培面積：100a（R4年度） 現況値：54a（R3年度） 		
 (いちご高設栽培)	 (根の調査)	2 地域のモデルとなる園芸法人の育成強化 (新規課題) 「園芸振興」 「アグリテック」関連課題	令和4年度～令和5年度	(有)サントマト石巻(石巻市) (株)DannyFarm(石巻市) (株)絆絆ファーマーズ(東松島市)	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> 石巻地域は古くから園芸栽培が盛んな地域 東日本大震災後、新たに施設整備等を行い農業法人を設立し園芸に取り組む事例が多い地域となっている。 課題対象の3法人は、県の事業を活用して新規にハウスの設置や複合環境制御装置を導入している法人となっている。 各法人とも、新たな品目や新規導入機器の有効活用について、導入から間もないことから、栽培管理が安定するまで技術的支援や導入機器の活用法、経営安定化支援等のサポートが必要となっている。 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> 生産技術高度化支援 効率的な生産管理体制支援 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> 出荷量：令和3年度比105%（R4年度） 現況値： (有)サントマト石巻 大玉トマト11t/10a（R2年度） (株)DannyFarm 施設なす4.5t/10a（R3年度） (株)絆絆ファーマーズ ほうれんそう等5.85t/10a（R3年度計画） 	4 長面地域における大規模土地利用型経営体の持続的な水田農業の実現 (新規課題) 「農地中間管理事業」 「アグリテック」関連課題	令和4年度～令和5年度	(株)宮城リスタ大川(石巻市) (農)みのり(石巻市) (株)ゆいっこ(石巻市)	【背景】 <ul style="list-style-type: none"> 対象地域の水田は、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた。 令和3年度に全ての水田が復旧し、作付けが再開された。 復旧農地は地力が低い状態にあり、水稲単収が低いことが経営全体へ大きな影響を与えている。 令和3年産米生産者概算金の大幅な下落により、対象法人の経営に与える影響がさらに大きくなっており、主食用米、飼料用米、WCS用稲の収量向上が不可欠となっている。 作期や労働力の分散、低コスト化への取組も必要であり、乾田直播栽培等の省力化技術の導入が求められている。 【活動事項】 <ul style="list-style-type: none"> 飼料用米栽培実証ほ設置による収量向上技術支援 飼料用米乾田直播栽培実証ほ設置による導入効果の検証支援 飼料用稲米・WCS用稲導入効果の検証支援 【数値目標等】 <ul style="list-style-type: none"> 飼料用米平均単収：500kg/10a（R4年度） 現況値：467kg/10a（R3年度）
 (農業法人への支援)	 (ほうれんそう栽培)	 (乾田直播栽培)	 (現地検討会①)	 (現地検討会②)					